

第19節 続・ぼくはお兄ちゃん

ぼくはお兄ちゃん。名前はマサミツ。

さて、今回はぼくのお話。このところ、トンと話題の中心にならなかったぼくであるが、すでに小学2年生になり、九九もマスターした。好きな科目は算数。国語はちょっと苦手。学校まで毎日1キロ弱の道を通い、帰れば宿題。その後、リョウ&タイと遊ぶ。なんてっ たって弟たちはかわいい。作文でも弟たちのことを書くことが多いんだ。

少し前におかあさんに聞かれた。

「なあ、リョウとタイが妹やったらよかった？」

ぼくは即座に返答した。

「イヤイヤ、ぜーったいイヤ！」

なぜって？仲のいい友達のところには妹がいるんだけど、妹があんなこと言ったとか、妹があんなことした、とか、そりゃ、うっとうしいことばかりするらしいんだ……妹ってのは。ぼくは、そんな妹が増えてやふたごだったら、どんなに大変か簡単に想像できるんだ。……と、言うか、ひとりってのは想像できないんだけど。とにかく、ヒラヒラのスカートを着ていても、髪を長くしていても、おにいちゃん！と言われても、妹はごめんだ。

なんと言っても、リョウとタイは最高。一緒に戦いごっこもできるしさ。

テレビに出てくる飛行機や戦闘物の武器を「兄ちゃん、作って！」ってねだるんだ。そんな時はふたつ返事で、レゴブロックでチョチョイノチョイで作ってやると、もう、むちゃくちゃかわいい顔で「ありがとう」なんて感激するんだ。ぼくが作っている側を離れずにずっと尊敬のまなざしで見てるんだ。そんなところもかわいいよ。

大作をリクエストされると、なんせ、何でも2つ作らなきゃならないからさ、ブロックの色が足りなかったり、部品を見つけるのに時間がかかったり、それなりに苦労は増えるんだ。でも、お片づけの時に、大事そうにしまっているのを見ると、またなんか作ってやろうかな、って気になるんだ。

まあ、一日のうち大半はいいんだけど、嫌なこともあるよ。

リョウとタイは片づけをサボろうとするんだ。

毎日、晩ごはんの前に、おかあさんが

「もうすぐご飯え！サッサと片づけや！」って言うんだけど、まあ、すぐに片づけにとりかからないぼくも悪いんだけど、ギリギリになって

「これは、出してへんし、兄ちゃん片づけて」って言い出す。こういう理屈をこねるのは、たいていリョウ。おかあさんが、

「みんなで遊んだんやから、みんなで片づけ！」って言っても

「この間、兄ちゃんが出したのをリョウが片づけたもん！」とか言う。これは腹立つ。

タイに至っては、まったく自分の好きなことしかしない。まだ散らかったままなのに、

おかあさんのお手伝いをする気である。おかあさんの声が聞こえないのか、または聞こえているのに知らん顔しているのか、最後までおもちゃを手にしているのはタイなことが多い。

そんな時、おかあさんはどう言うか？そんなん毎回同じさ、

「マサミツがしなさい。おかあさんが片づけなさいって言うた時に、サッサとスタートしたらええのに、いつまでも遊んでるからやろ！早よしい！」

ほらね、いつもいつも……。毎回言われるぼくも悪いとは思うけれどね。それで、おかあさんはいつも最後に言うんだ。

「落ちているのはお座布団とスリッパと椅子とゴミだけ。これはほかして（捨てて）ええの？これもほかす（捨てる）の？」

と、ごみ箱を持って歩くんだ。おかあさんはヒートアップすると、もっと大きな青いゴミ袋を持っておもちゃを拾い始める。

1年ほど前だったか、ブロック全部と変身の道具など一式を本当に捨てられた。あの時は泣いたなあ。おかあさんの頭にも角が何本も出ていたし。湯気も立っていた。

（おもちゃ入りのゴミ袋は捨てたふりをして、後で夫がそっと家の中に戻しました。角が出ていて、湯気も立っていたのは本当です。母談）

そんなこんなで、一日に何度か、リョウもタイも憎らしく思う時があるのは事実。

そうそう、困っていることもある。

タイは力が強いんだ。ぼくと体重は4キロしか変わらないけど、押し倒されたり、上に乗っかられたりするんだ。おまけに乱暴者なんだ。容赦がないっていうか、力まかせっていうか、つまり、思いっきりグーで背中をたたいたりパンチをしたりする。本気で怒ったときは、こども用のパイプ椅子を頭の上にかかげて、ぼくを目がけて放り投げようとする。まあ、こういう事態が起こる過程は、だいたいおかあさんは把握しているので、マジで怪我をする一歩手前で止めてもらえる。けど、毎回ドキドキさ。

リョウはと言えば、こいつは基本的にズルい。細かいことでも、おかあさんに言いつけに行くしさ。すぐ泣くんだ。メソメソって感じで泣く。おかあさんも慣れてきて、簡単にはとりあわないけど、ぼくが順番を譲ってやらなかったから、とか、手を出してしまった時には、やっぱりぼくは怒られるんだ。

それにしても2005年のお正月は楽しかった。

まずはトランプ遊びをした。

去年はカードを配るだけでケンカになって、ゲームどころじゃなかったけど、今年はおかあさんと4人で「7ならべ」からはじめたんだ。リョウとタイは、自分の手持ちがないからと言って、7の次に9を出したりしたけど、1から13までカードの順番がわかってるんだ。まったく、賢くなりやがった。

「うすのろのばか」もおかあさんに教えてもらった。3回目くらいでルールも分かり、

何回もやった。自分が負けた時はキィキィ言ってたけど、「ゲームやしな」っておかあさんがなだめたら、ちゃんと立ち直れた。ふたりとも去年から比べると格段の進歩だ。

ぼくは、NHKスペシャルの「地球大進化」っていう番組もお正月の間に見たんだ。夜遅くにやっていたのを、おとうさんが録画しておいてくれたんだ。地球儀や地球の本を横に置いて、勉強じゃないけど勉強みたいだった。

それと、マツケンサンバ。

紅白歌合戦のを録画しておいてもらったんだ（起きていられなかったからね）。これはリョウとタイと大合唱になる。ダンスを覚えようと思うんだけど、いまひとつ覚えきれていない。大声で歌うとスカッとすよな。

ほら、また「バタバタするな！！」って怒られた。隣近所、階上や階下の人に迷惑なんだって。今にSMA P並みに歌って踊って余興ができるようになるつもりなのに、おかあさんたら、わかんないかなあ。

ぼくはお兄ちゃん。名前はマサミツ。

お風呂もひとりで入れる。リョウの抱っこはできるけど、タイの抱っこはできない体重21.3キロ。

日曜日にはおとうさんとサッカーの練習に行くのが楽しみ。学校大好き。給食大好き。いまだにトミカのミニカーやプラレールで遊ぶのが大好き。でも絶対はずせないのはレゴブロックかな。お正月のお節料理大好き。今年もいっぱい食べたよ。11日の鏡開きのおぜんざいも楽しみだな。

友達には、東京ディズニーランドやらユニバーサルスタジオジャパンに連れて行ってもらった人が多いんだ。でも、おとうさんとおかあさんは、ふたりの弟たちもちゃんと乗り物に乗れるくらい大きくなるまでは連れて行かないって。そんなけど、ぼくは待てるんだ。だって、ぼくだけ乗り物に乗れて、リョウとタイだけ乗らずに外で待ってるなんてかわいそうだしね。みんなで楽しめる方がいいもんね。

スキーやスケートだってまだ行ったことがないんだ。友達はYMCAのスキーキャンプに行ったら話をしているのにね。これは、ただ、おかあさんが臆病なだけ。風邪をひいたら大変って、いらぬ心配をしているんだ。ひとりが風邪をひいたら次々に兄弟に伝染するからね。

今は治ったけど、前はぼくも喘息だったから、タイが喘息の咳をしていると、しんどさはよくわかるんだ。風邪をひくと咳がでるからね。年末年始お医者さんが閉まっている時に発作が出ると、それこそ大変なんだ。去年はタイは入院しなかったけど、その前の年、秋にタイが1週間も入院した時は、おかあさんまで付き添いでいなかったのだから、それはそれは大変だったんだ。理由はわかってる。でもなあ……。

なんやかんやで、ぼくはいろいろと苦労しているし、我慢もしている。こんなぼくを、どこまでおとうさんやおかあさんは理解してくれているのか……。

とりあえず、2005年がスタートした。今年は3年生になる。2年生とあまり変わりはないだろうけど、まあ、ぼちぼちいっとこか。

ほな、遊ぶでえ！リョウ！タイ！来い！